

2021年
283号
12月22日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越芳連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



第58回シテイウォーク

紅葉を求めて

しらこばと運動公園へ

今回は越谷市内の紅葉を求めて、市西部の「しらこばと運動公園」へ向かいました。11月29日(月)北越谷駅西口広場に集合したのは吉田健治さん、吉田貞夫さん、曾我光枝さん、鈴木とし子さん、坂本政明さん、古川正治さん、五十嵐光範さんの7人。最年長は今でも山に行くという、89歳になる吉田貞夫さんでした。目的の「しらこばと水上公園」は、夏は流れるプール、何本ものスライダー等で子供や孫達が楽しみ、組合員の皆さんも、小さい時は毎年のように訪れたのではないのでしょうか。

そこに隣接して「しらこばと運動公園」競技場「フイールドアスレチック」バーベキューやキャンプができる「しらこばと運動公園」があります。途中見学する予定だった「越谷市リサイクルプラザ」は残念ながら月曜日は休館。運動公園は月曜のため閑散としていましたが、多少色づいている樹々もあり、水上公園は冬のため唯一プールがマス釣場になっていました。「コバトンの森」の芝生広場で昼食。写真の上部に大型遊具が見えます。この日は風もなく暖かい日和の中、芝生にレジャーシートを広げ、参加者の持ち寄りしたもので、缶ビールを分け合い懇談しました。帰りはバスで越谷駅西口へ行き解散しました。(五十嵐)

新・福田市長に

補聴器購入の要請

「加齢性難聴者補聴器購入の公的補助制度創設」の実現にむけて、埼玉県本部からの要請に応じて、11月16日(火)、17日(水)の書記局会議、執行委員会、市長宛の文書をつくりました。11月18日(木)13時福田市長に面談を申し入れ、難聴者補聴器購入補助の要請をしました。吉田支部長、五十嵐書記長、山本、足立副支部長が同席しました。市長は公務出張しているとの事で、秘書課の伊藤副課長が対応しました。山本、足立副支部長は難聴のため、補聴器をつけて参加。補聴器は片耳分で20万円もし、全額負担することで生活費は赤字になり、年金暮らしで大変です。吉田支部長も強く申し入れました。その後日本文書を含む何らかの方法で回答しますと約束してくれました。市民と共闘しながら世論を高めていきます。(吉田健治)

点 睛

スマホ・デビューはいかが

この一ヶ月、日本では新型インフルが流行し、多くの人が感染した。その中でも、高齢者の感染が特に多い。これは、高齢者が外出する機会が少ないため、感染のリスクが高くなるからである。また、高齢者は、新しい技術や機器に慣れるのが苦手な人が多い。例えば、スマートフォンやタブレットなどの操作が難しいと感じる人が多い。しかし、高齢者が新しい技術や機器を使いこなすことは、生活の質を向上させるために必要である。高齢者が新しい技術や機器を使いこなすためには、家族や友人のサポートが必要である。また、高齢者が新しい技術や機器を使いこなすためには、高齢者に優しい教材や講座が必要である。高齢者が新しい技術や機器を使いこなすことは、生活の質を向上させるために必要である。高齢者が新しい技術や機器を使いこなすためには、家族や友人のサポートが必要である。また、高齢者が新しい技術や機器を使いこなすためには、高齢者に優しい教材や講座が必要である。

今年度はコロナ感染拡大で活動が大変でしたが、屋外活動を中心に組合員の皆さんの協力で無事一年間を終えることができました。「ねんきん越谷」のご愛読ありがとうございました。(編集委員会)

